なぜ私たちは礼拝するのか

聖書に学ぶ　真実の礼拝

Shikaoichurch.com

なぜ私たちは礼拝するのか

❶人は礼拝するために造られた

～礼拝の歴史～

❷ただ一度、真実の礼拝がささげられた

～キリストの死と復活～

❸だから今、私たちは礼拝する

～教会での礼拝～



聖書引用　新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会　許諾番号4-1062-2



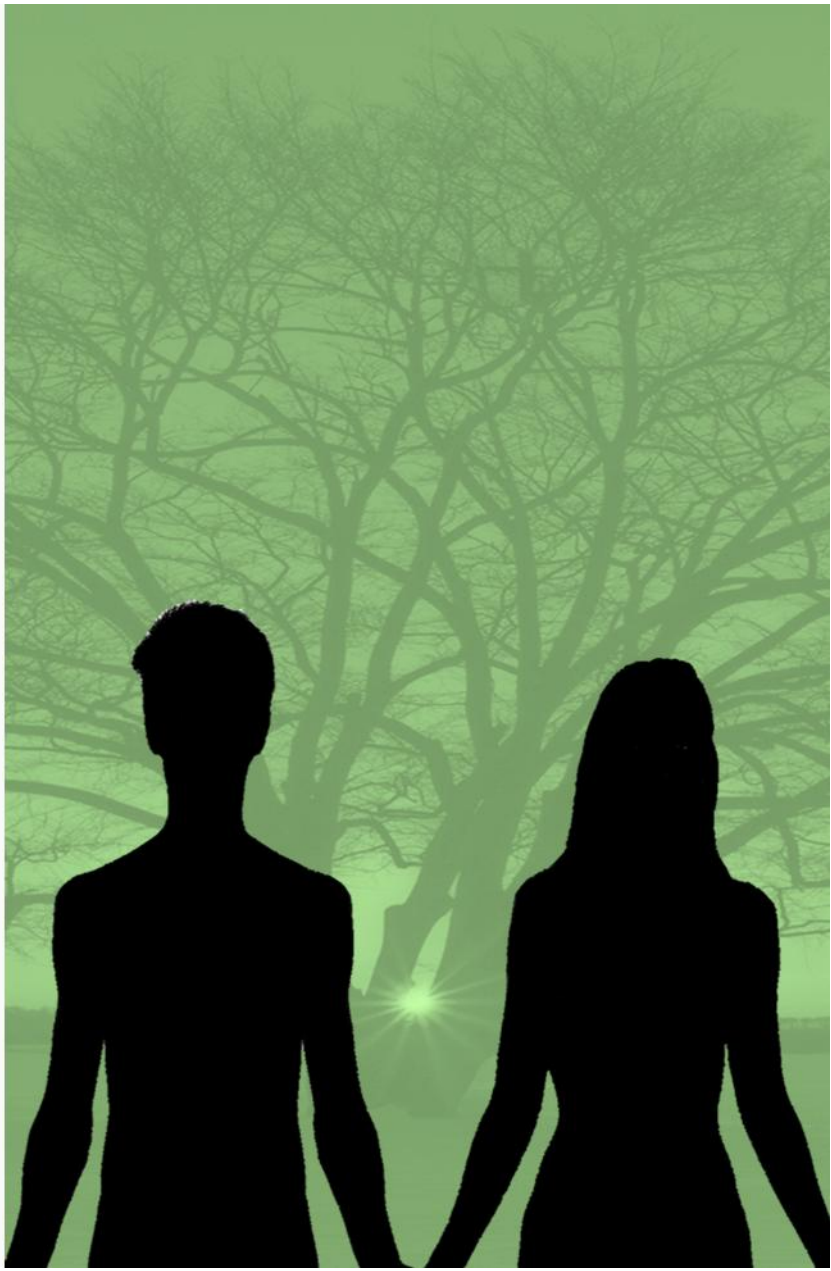
❶人は礼拝するために造られた　～礼拝の歴史～

天地創造

■神は、世界を造り、最後に人を造られた。

「神である【主】は、その大地のちりで
人を形造り、その鼻に**いのちの息**を吹き
込まれた。それで人は生きるものとなった。
創世記2:7」

**人は、神に命の息を吹き込まれて
生まれてくる**



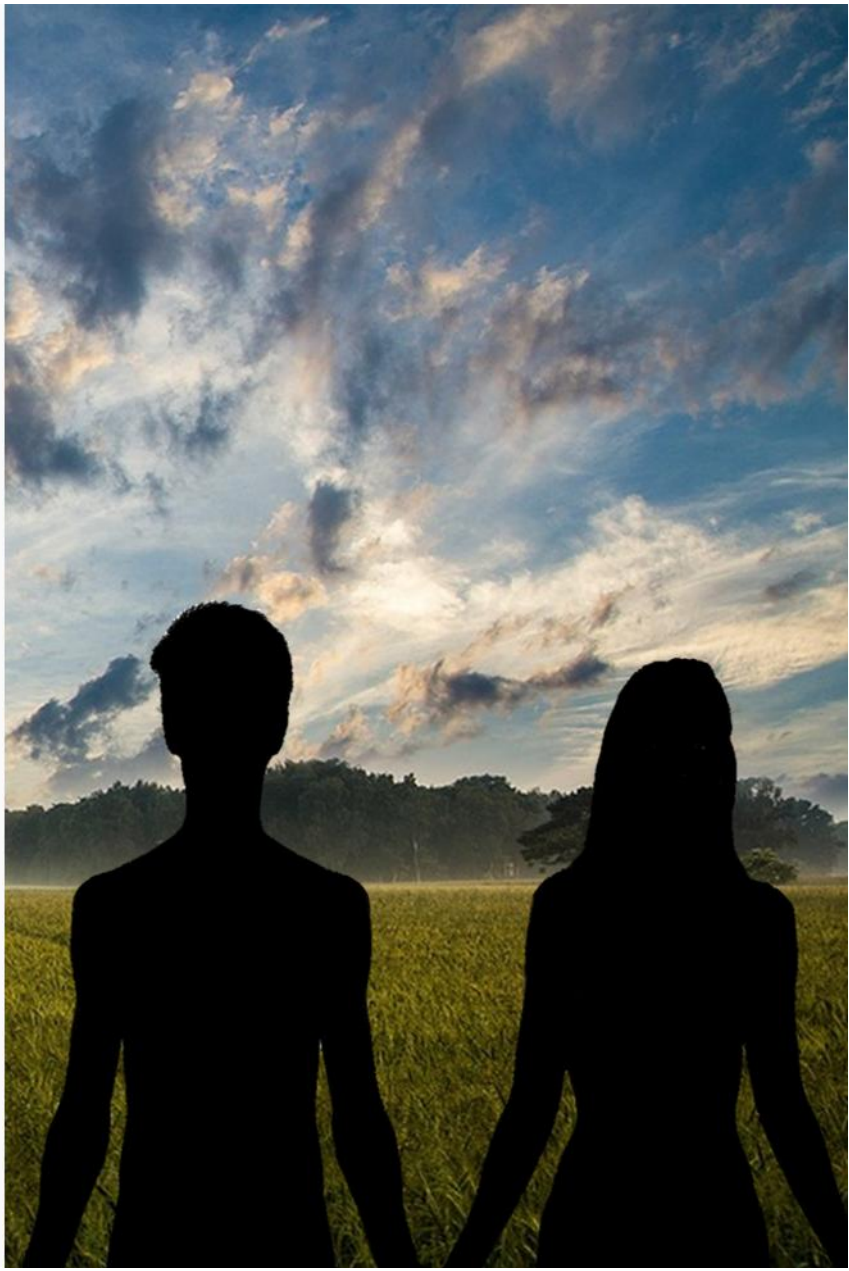
人の使命

「神である【主】は人を連れて来て、
エデンの園に置き、そこを**耕させ***、
また守らせた。創世記2:15」

＊アバッド…働く、仕える、**礼拝する**

働く＝礼拝する

**人は、神を礼拝するために
造られた**



破られた約束

- 人は、神との約束を破り、食べてはならない「善悪を知る木の実」を食べてしまった。

- 神との約束を破った最初の**罪**によって、人は、神の祝福から断絶されてしまった。

神との断絶＝死

- 霊的に死んだ人間は、苦しんで働き、やがて肉体も死ぬ!!

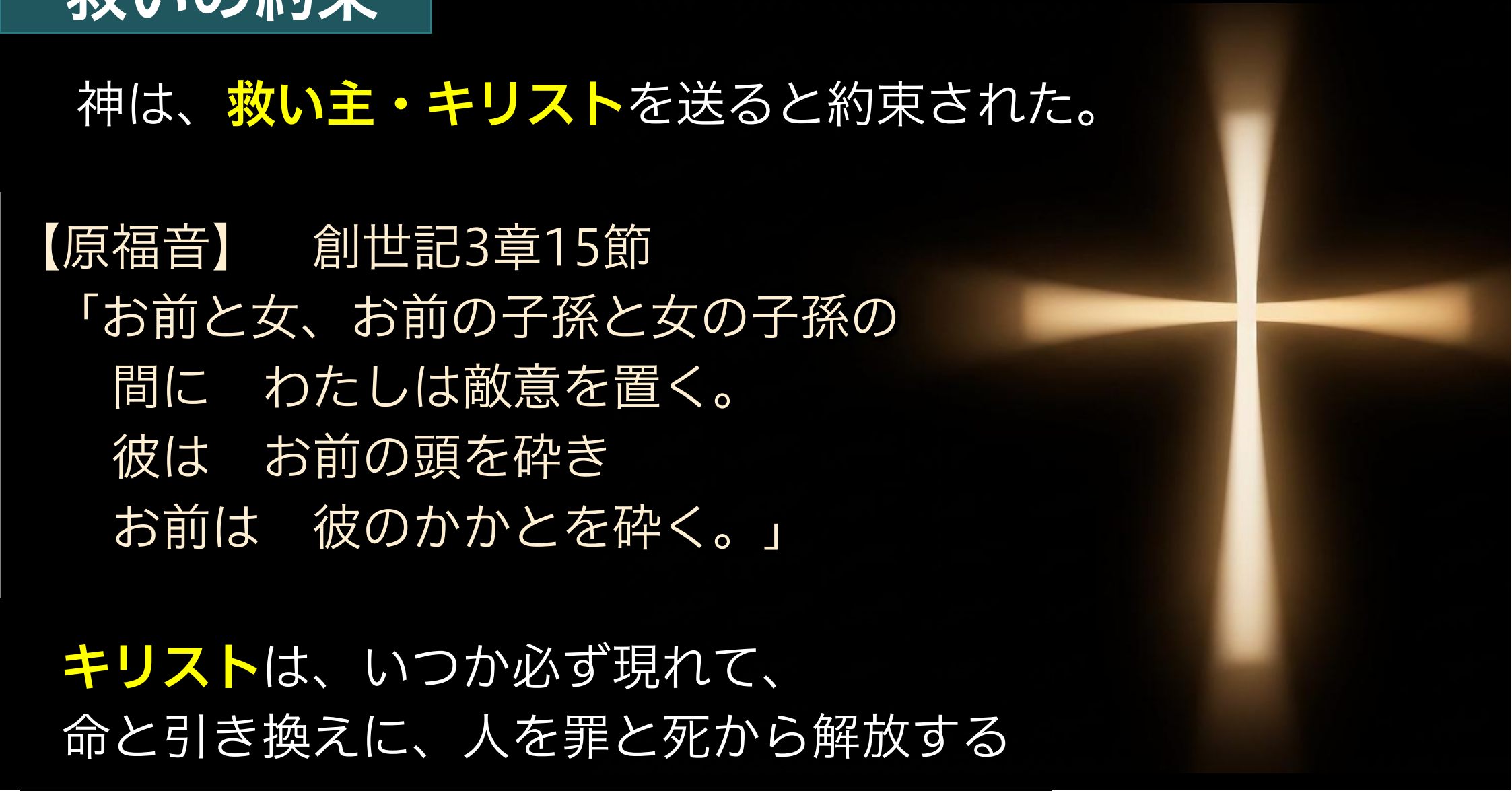


救いの約束

神は、**救い主・キリスト**を送ると約束された。

【原福音】　創世記3章15節
「お前と女、お前の子孫と女の子孫の
　間に　わたしは敵意を置く。
　彼は　お前の頭を砕き
　お前は　彼のかかとを砕く。」

キリストは、いつか必ず現れて、
命と引き換えに、人を罪と死から解放する



礼拝に伴う犠牲

労働に苦しみに伴うように、
礼拝には**犠牲**が必要になった。

しかし、罪ある人間が自分をささげても、
きよい神は受けってはくださらない。

罪あるの人間の身代わりに、
きよい動物がささげられた。
最初にささげられたのは、羊だった。





罪ある人間に
本当の平和は造れない

人間は罪を重ねた

人は罪を重ね、世界は
大洪水で一度、裁かれた。

再び増え広がった人類は、
またしても神に逆らい、
共通の言葉を失い、
全地に散らされた。

選ばれたアブラハム　　創世記12章

- 神は、年老いた一人の人、アブラハムに神が示す地へ旅立つよう命じた。

- アブラハムは、神の約束した地に着くと最初の**礼拝**を神にささげた。

- 神は、一人の子どももいなかったアブラハムに約束された。
  - ❶子孫が繁栄し、
  - ❷この土地を与えられ、
  - ❸やがて、子孫に**キリスト**が誕生する。



真実のささげもの　創世記22章

- アブラハムは、ようやく得たひとり子イサクを、神に献げるよう命じられた。
- 刀を振り上げたアブラハムを神が止めた。
- 神はアブラハムの信仰を認められた。

アブラハムは、
真実の礼拝をささげた





イスラエル民族の誕生

アブラハムの子孫は、飢饉のため
エジプトに逃れ、400年が過ぎた。

奴隷となり、**滅亡**に瀕していた。

神は、モーセをリーダーに立て、
彼らを奴隷から解放された。

彼らは、神と契約を結び、
神の民・イスラエルが誕生した。



過越の祭り

神は、イスラエルを解放した時、
エジプトに災いを下した。

神は、災いに巻き込まれないため、
イスラエルに**子羊**をささげて、
血を家の戸口に塗るよう命じた。

神は、災いを過ぎ越した記念に
「過越の祭り」を祝い続けるよう
イスラエルに命じられた。



**イスラエルは、一度、滅び、
キリストを待ち望み続けた。**

イスラエルの滅び

イスラエルは、約束の地に
王国を築き、栄えたが、
神の命令に背き、偶像を拝み、
偽りの平和に浸った。

神に裁かれ、国も都も滅びた。
苦しい時代が長く続いた。

イスラエルは、神が約束された**キリスト**を、強く待ち望むようになっていった。

❶人は礼拝するために造られた　～礼拝の歴史～

- 人は、神を礼拝するために造られた。

- 罪のため、人は正しい礼拝ができなくなった。
  ➡礼拝に犠牲が必要になった



- 再び、正しい礼拝をささげられるよう、
  神は、**キリスト**を送ると約束された。

キリストは、神の民・イスラエルの子孫に誕生する



❷ただ一度、真実の礼拝がささげられた

～キリストの死と復活～



キリストの誕生

今から約2千年前、
ユダヤのベツレヘムで、
一人の赤ん坊が生まれた。

飼い葉桶に寝かされた、
この子が、**イエス（主は救い）**。
約束された**キリスト**だった。

2歳の時、キリストは、
王に命を狙われ、
両親とエジプトに逃れたのち、
再び、約束の地に戻られた。



イエスは、
キリストの証拠を示された

キリストの奇跡

イエスは、30歳頃から、
キリストの活動を始められた。

聖書を正しく教えられ、
多くの病気や障害を癒やし、
人々を悪霊から解放した。
嵐を鎮め、波の上を歩いた。

イエスは、神にしかできない
たくさんの**奇跡**によって、
キリストの証拠を示された。



キリストの死と復活を
弟子たちは理解しなかった

キリストの十字架の予告

「あなたは、神の子キリストです」

そう弟子たちが告白した時から、
イエスは**死**と**復活**を告げ始めた。

イスラエルの都エルサレムで、
多くの苦しみを受け、**殺され**、
三日目に
よみがえらなければならない、と。

キリストは、イスラエルと人類の罪を贖う犠牲の子羊



過越の祭りで

活動を始めてから3年目の
過越の祭りの食事の席で
イエスは、宣言された。

イエスこそ**キリスト**であり、
人の罪を身代わりに負う
あがないの**犠牲の小羊**だと。

イスラエルの**過越の祭り**は
キリストを指し示していた。

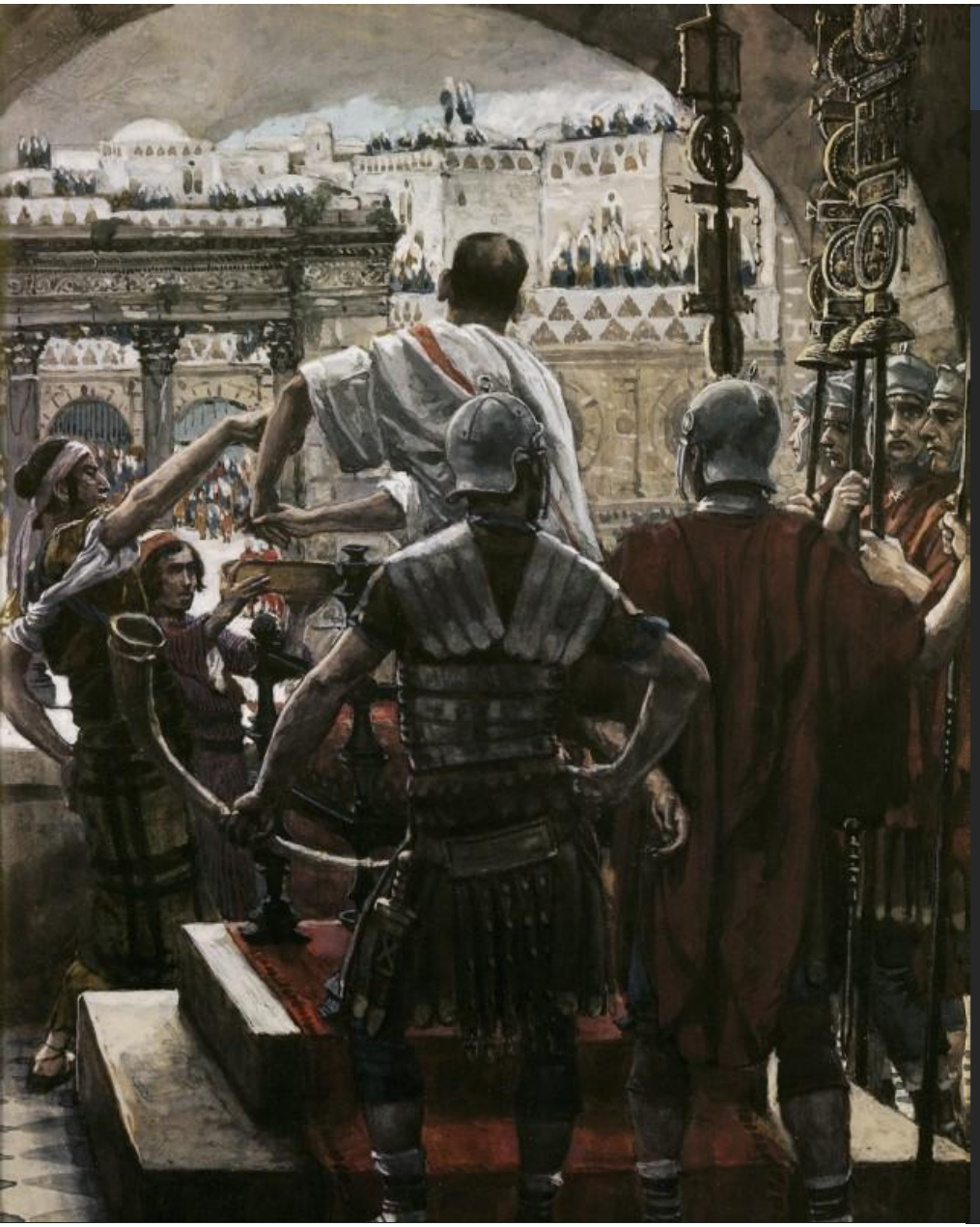


ゲツセマネの祈り

イスラエルの指導者たちは、
イエスをキリストと認めず、
捕らえて殺そうとしていた。

血を流して祈るイエスに、
神は、告げられた。
イエスは、神の怒りを受け、
父なる神から完全に断絶されると。

十字架の死が目前に迫っていた。

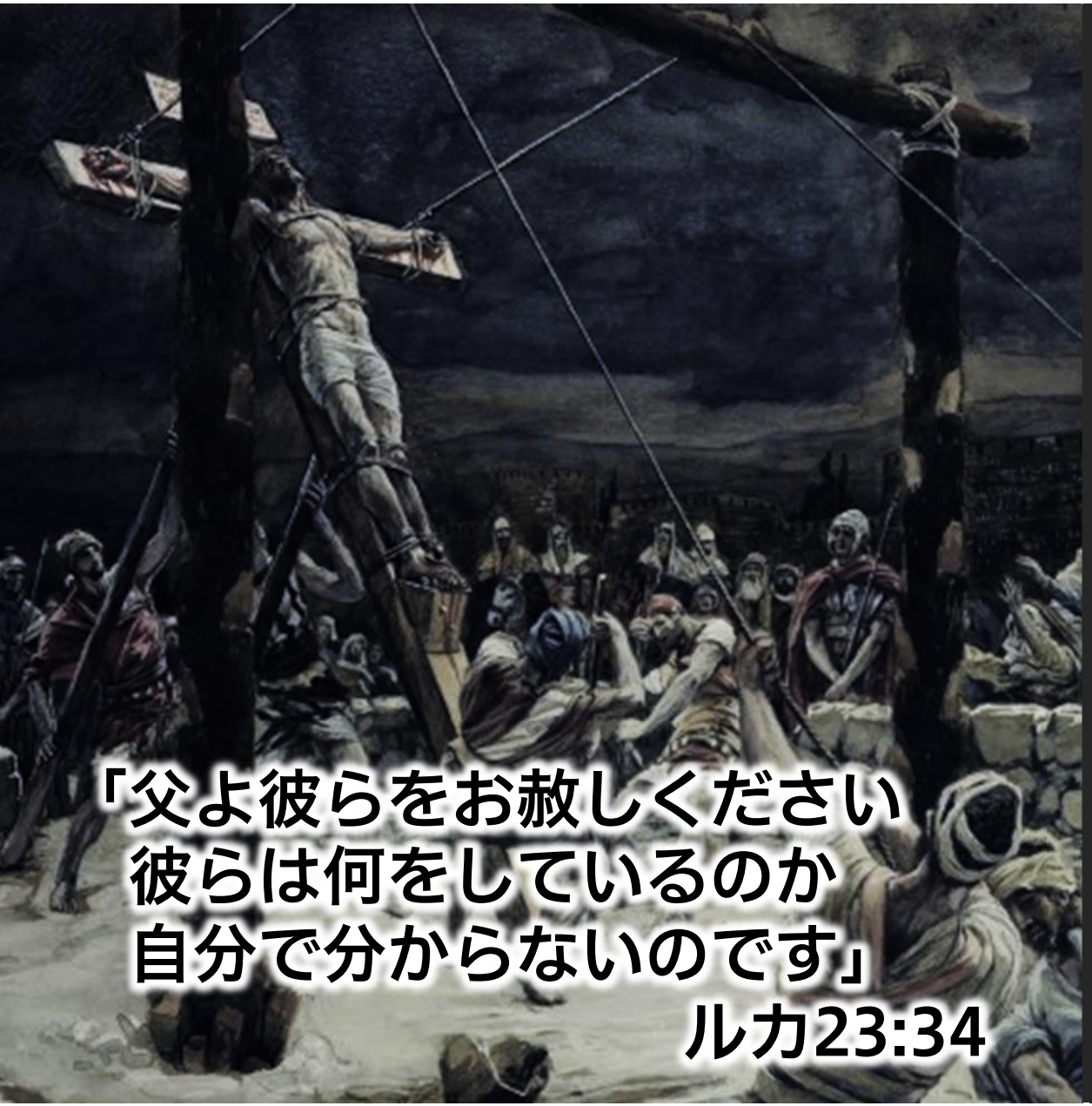


十字架へ

捕らえられたイエスは、
イスラエルの指導者たちによって、
神を冒涜したと訴えられた。

ユダヤ議会はイエスを、支配者の
ローマ総督ピラトに引き渡し、
十字架につけろ、と群衆を煽った。

総督ピラトは、無罪だと知りながら、
イエスに**十字架刑**を宣告した。



過越の祭りで

午前9時。神殿では、過越の祭りで最も重要な**犠牲の羊**がささげられていた。

あざける人々のために、
十字架でイエスは祈られた。
一人の罪人が、イエスをキリストと信じて、救われた。

地を闇が覆ったとき、私たちの受けるべき**神の怒り**が、
イエスに注がれていた。



過越の祭りで

イエスは、「完了した」と叫び
息を引き取られた。

神の怒りを身に受け、
私たちの罪を贖う
身代わりの犠牲となられた。

罪の代価は完全に支払われた。

主イエスの**十字架の死**は、
私たちの罪のためだった。

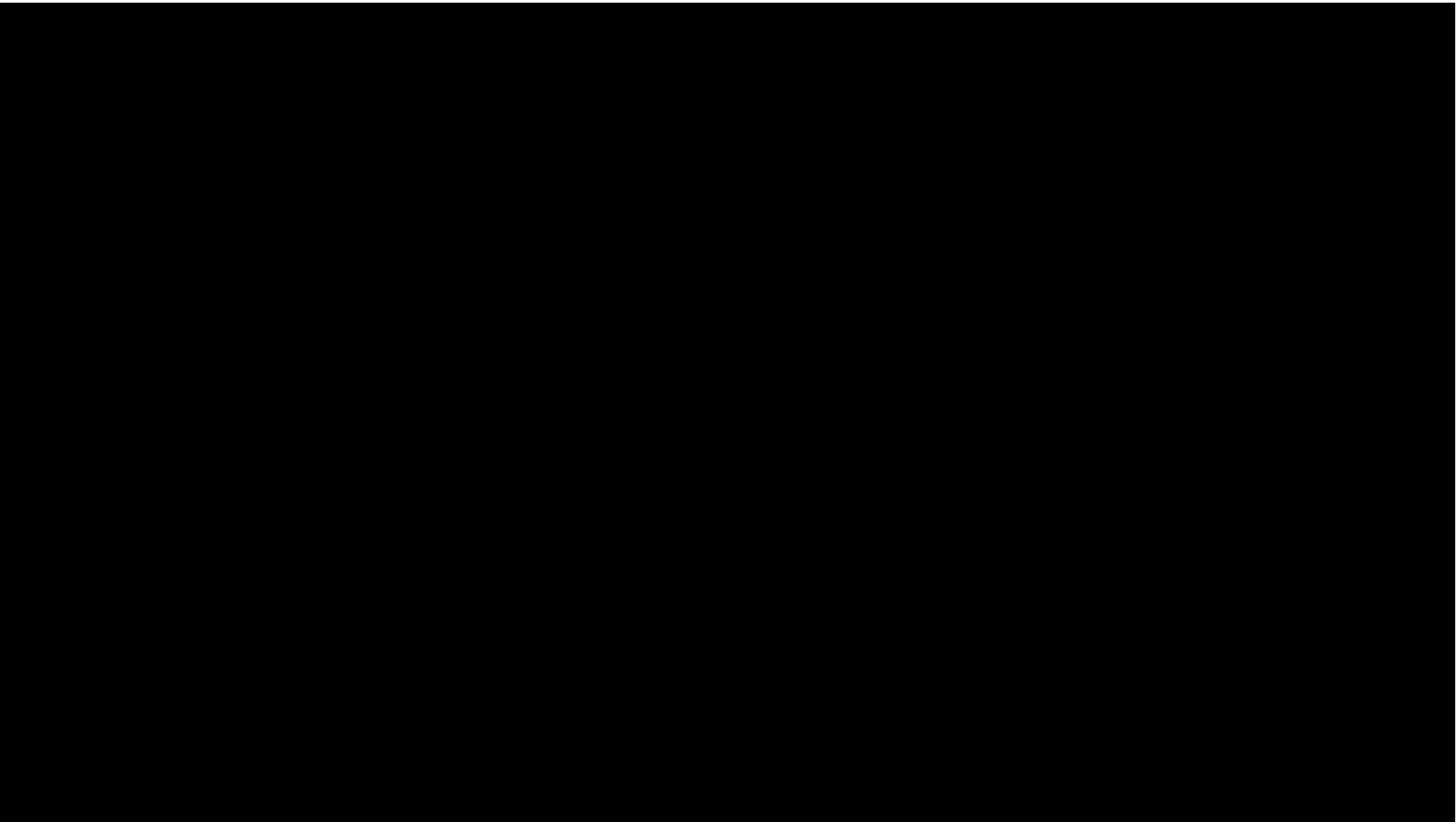


過越の祭りで

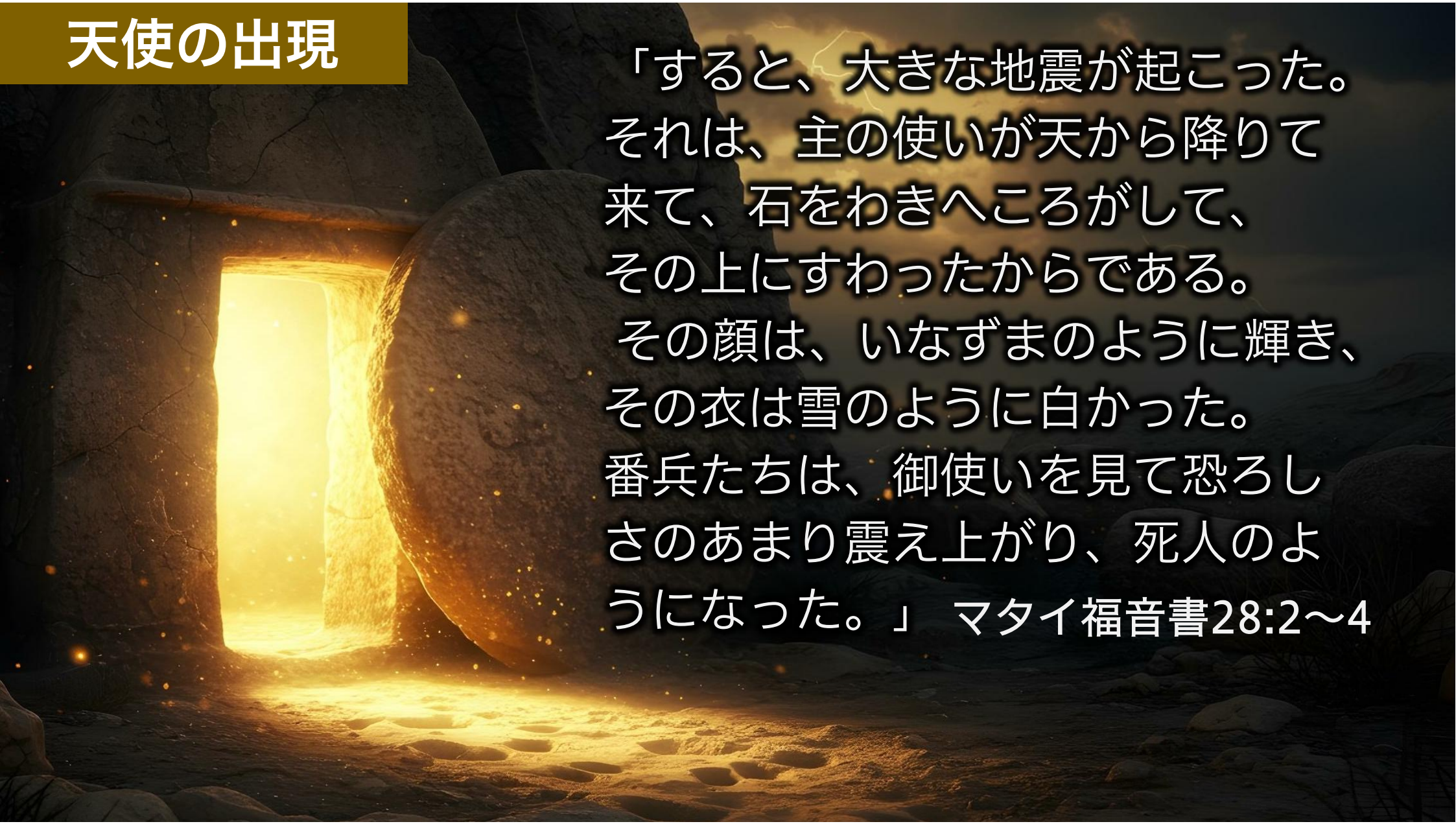
隠れていた一人の弟子が名乗り出て、
イエスの遺体を葬った。

イスラエルの指導者は、
ローマに墓の番を依頼した。
弟子たちが死体を盗み、
イエスが**復活**したと言いふらすことを、恐れたのだ。
兵士は、命がけで番をした。

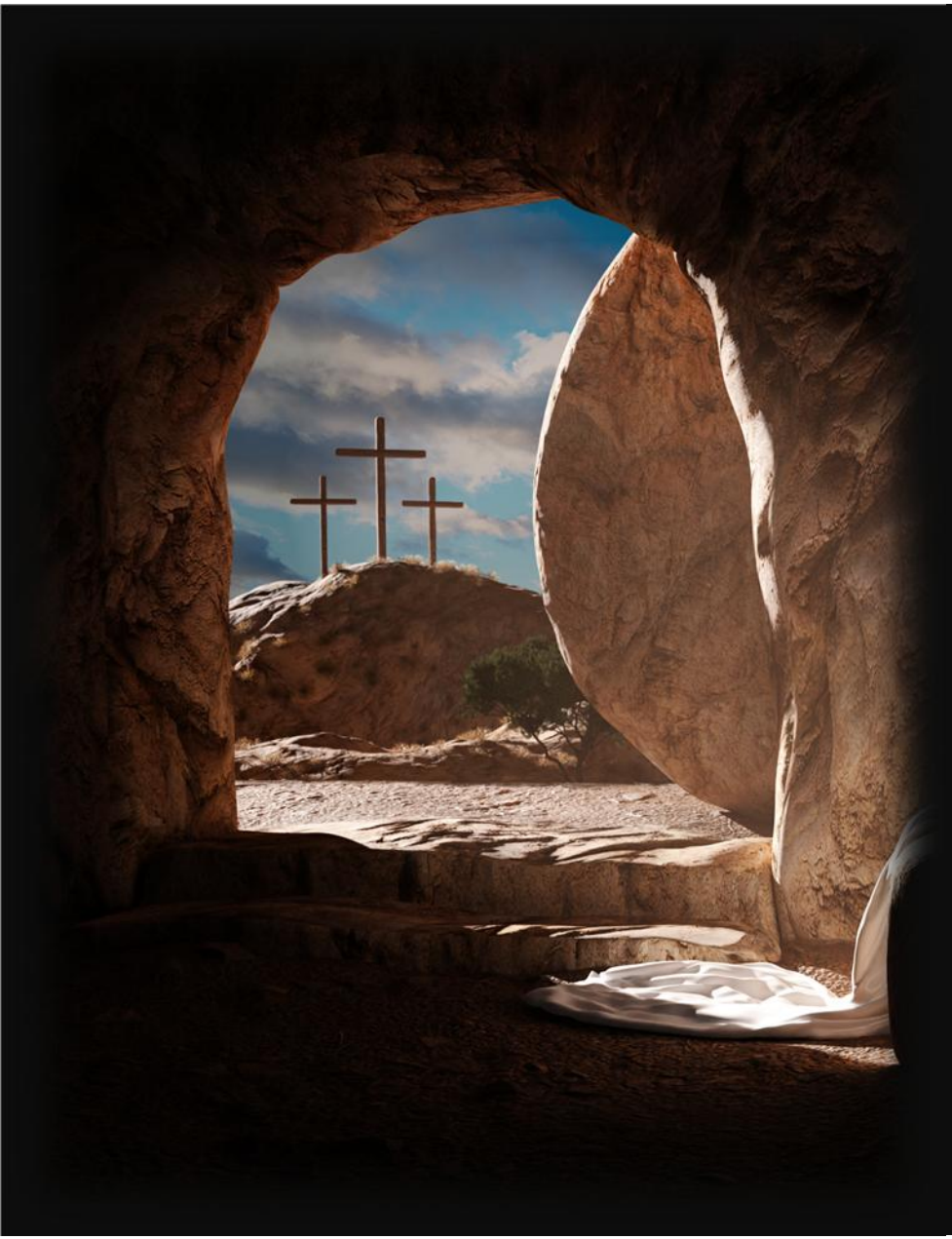
逃げ出した当の弟子たちは、
イエスの**復活**の予告を忘れていた。



天使の出現



「すると、大きな地震が起こった。
それは、主の使いが天から降りて
来て、石をわきへころがして、
その上にすわったからである。
その顔は、いなずまのように輝き、
その衣は雪のように白かった。
番兵たちは、御使いを見て恐ろし
さのあまり震え上がり、死人のよ
うになった。」 マタイ福音書28:2〜4



三日目の朝、弟子の女たちが、
訪れた墓は、空っぽだった。

天使が現れて言った。
「あの方は、ここにはおられない
復活なさったのだ」

信ずべき福音　ルカ福音書24:7～8

■天使は、告げた。
「人の子は必ず罪人らの手に引き渡され、
十字架につけられ、三日目によみがえら
なければならない、と言われたでしょう。」

■続いてイエスは、弟子たちの下に現れた。

■疑っていたトマスも、イエスを見て信じた。
「私の主、私の神よ」

人となられたキリストは、神だった。





弟子たちの使命　マタイ福音書28章

キリストは、死を打ち破り、
天の栄光の体で**復活**された。

キリストは、弟子たちを力づけ、
使命を与え、天に昇られた。

「あなたがたは行って、
あらゆる国の人々を
わたしの弟子としなさい。
わたしは世の終わりまで
いつもあなたがたとともにいる」



この福音を信じて
死と滅びから
救われる

聖霊に満たされて

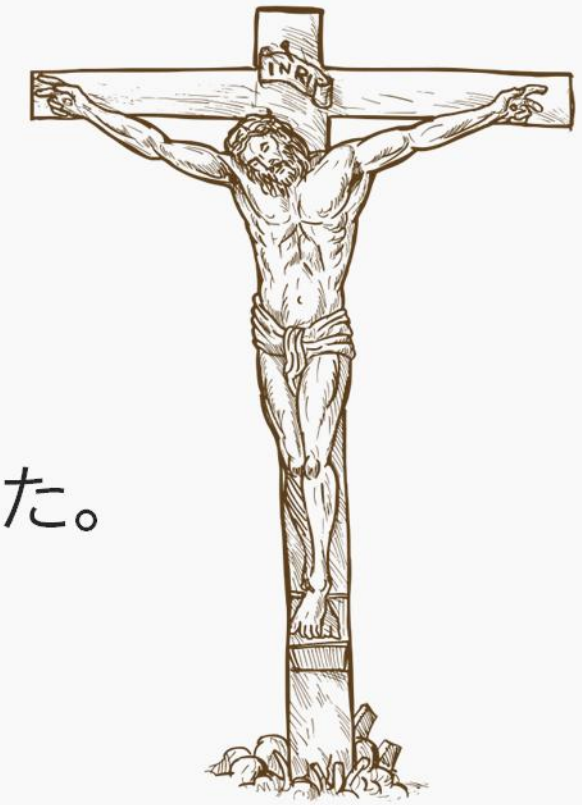
天に昇られたイエスに代わり、
聖霊（神の霊）が、弟子たちに降った。

激しい迫害の中、弟子たちは、
命も惜しまず伝えて行った。

「私たちの罪のために、
十字架で死なれ、葬られ、
復活されたイエスこそ、
救い主、キリストです。」

❷ただ一度真実の礼拝がささげられた　～キリストの死と復活～

- 神の約束通り、キリストは誕生された。
  - ➡キリストは、人となられた神。



- キリストは、真実の完全な犠牲となられた。
  - ➡罪のない身で、十字架で死なれ、葬られた。
- キリストは、神の栄光の姿で復活された。

キリストが犠牲となって、真実の礼拝がささげられた



❸だから今、私たちは礼拝する　～教会での礼拝～

エルサレムの墓

キリストが予告された、教会時代の礼拝

「しかし、まことの礼拝者たちが、**御霊と真理によって父を礼拝する**時が来ます。今がその時です。父はそのような人たちを、ご自分を礼拝する者として求めておられるのです。ヨハネ4:23 」

■今の教会時代にささげる礼拝の原則

❶聖霊によって　　…福音を信じて救われた者が!!

❷神の真理によって　…聖書の記す礼拝の原則に従って!!

今、礼拝でささげるべきは、自分自身

「ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、**聖なる生きたささげ物**として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。ローマ人への手紙12:1」

■キリストの死と復活を信じた者は、罪をゆるされ、きよめられた。

➡自分自身を神にささげることができるように!!

福音を信じてささげた身を、神は喜んで受けとられる!!

自分自身をささげるとは？　　❶神を愛する

■キリストが教えられた第一の戒め

『聞け、イスラエルよ。主は私たちの神。主は唯一である。
あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くし、
力を尽くして、**あなたの神、主を愛しなさい。**』マルコ12:29～30

■信仰者に求められるのは、優先順位。日々の中で、神を第一に!!

例)起きたら、まず聖書を読み、神に聞き、神に祈る。

収入を得たら、神にささげる分をまず取り分ける。

神を愛し、神にささげる　＝　自分の時間、力を注ぐ

自分自身をささげるとは？　　❷人を愛する

■キリストが教えられた第二の戒め

『あなたの**隣人を**自分自身のように**愛しなさい。**』マルコ12:31

■愛するとは？　キリストが教えられた**愛の原則・黄金律**

「人からしてもらいたいと望むとおりに、人にしなさい。」ルカ6:31

自分の時間、力を注いで、人を愛し、仕える

真実の信仰と愛には、行いが伴う

「この世の財を持ちながら、自分の兄弟が困っているのを見ても、その人に対してあわれみの心を閉ざすような者に、どうして神の愛がとどまっているでしょうか。

子どもたち。私たちは、ことばや口先だけではなく、**行いと真実をもって愛しましょう。**

そうすることによって、私たちは自分が真理に属していることを知り、神の御前に心安らかでいられます。」Ⅰヨハネ3:17～19

■富や財も、神が与えられた恵み。神が喜ばれるために用いるもの。

神の恵みを人に与え、分かち合うのが、神の求める愛

真実の愛は、見返りを求めない

「しかし、あなたがたは**自分の敵を愛しなさい。**彼らに良くしてやり、返してもらうことを考えずに貸しなさい。そうすれば、あなたがたの受ける報いは多く、あなたがたは、いと高き方の子どもになります。いと高き方は、恩知らずな者にも悪人にもあわれみ深いからです。

ルカ6:35」

■愛は見返りを求めない。敵を愛するのが究極の愛。

➡キリストは、十字架で、私たち罪人のために神に祈られた。

私たちは、どうしたら見返りのない愛で人を愛せる？

神と人を愛するために　　❶喜んで与えよう

■キリストの命令

「**与えなさい。そうすれば、あなたがたも与えられます。**詰め込んだり、揺すって入れたり、盛り上げたりして、気前良く量って懐に入れてもらえます。あなたがたが量るその秤で、あなたがたも量り返してもらえるからです。ルカ福音書6:38」

■何かを握りしめていたら、神の恵みを受けとることはできない。

➡手放して受けとるための最善は、与えること。

喜んで与えるほどに満たされて、ますます喜びがあふれていく

神と人を愛するために　❷神の約束に信頼してささげよう

■必ずやってくる神の国での約束

「もう一度、わたしは、地だけではなく天も揺り動かす。」

この「もう一度」ということばは、揺り動かされないものが残るために、揺り動かされるもの、すなわち造られたものが取り除かれることを示しています。

このように揺り動かされない御国を受けるのですから、私たちは感謝しようではありませんか。感謝しつつ、敬虔と恐れをもって、神に喜ばれる礼拝をささげようではありませんか。ヘブル12:26～28」

■キリストは、王として戻って来られ、世界を回復される。

罪と悪は裁かれ、真実の愛だけが残され、世界に満たされる。

神と人を愛するために　❷神の約束に信頼してささげよう

「このように**揺り動かされない御国を受ける**のですから、私たちは感謝しようではありませんか。感謝しつつ、敬虔と恐れをもって、神に喜ばれる礼拝をささげようではありませんか。ヘブル12:26～28」

■クリスチャンが、この世のものに執着しないでささげられるのは、神の国を相続し、永遠に国民とされる。神の約束を信じているから。

「神は人々とともに住み、人々は神の民となる。神ご自身が彼らの神として、ともにおられる。

神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、悲しみも、叫び声も、苦しみもない。黙示録21:3～4」

★　だから今、私たちは礼拝する　★

- 与えたら、与えられる。神が造られた、この世界の原則。

　例)久遠チョコレート。クリスチャンでなくとも、これほどに。

神を愛するクリスチャンの、与えて与えられる恵みはどれほど？

- 私自身をささげ、神を礼拝しよう。神を愛し、人を愛そう。

「キリストは、私の罪のため十字架で死なれ、復活された。」

この福音を信じて罪赦された、恵みを味わわされつつ、

喜びと感謝をもって、キリストの愛を証し、伝えて行こう。

今、喜びと感謝をもって、唯一の神を礼拝しよう!!

「天のお父さま。私の罪をゆるしてください
私は、神のみ子イエス・キリストが、
①私の罪を贖うために十字架で死なれ、
②墓に葬られ、
③三日目に復活されたこと、を信じます。
信仰により、恵みによって、私の罪はゆるされました。
私たちは、喜びと感謝をもって、神様、あなたを礼拝します。
私たちは、与え、与えられます。あふれるほどに満たされます。
主イエス・キリストを証し、人々に救いの福音を伝えます。
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。　アーメン」